

# リスクアセスメント推進大会 2019 あいち 「まっすぐな道。」

遠回りだと思っていた道こそが、向かうところへまっすぐとつながっていた

会場の日本特殊陶業市民会館には、1,080人の事業者や安全担当者が結集、約30社の県外事業場から（遠くは宮城県、福岡県）も参加いただきました！

ロビーでは、愛知労働局オリジナル「危なさ」と向きあおうの“顔はめ”パネルを設置し、参加者が記念撮影をしていました。（基調講演の向殿名誉教授も撮影いただきました！）

大会は司会を置かない構成で、市内の保育園児による「前に進もう」の掛け声が入ったプロローグムービーで開会、続いて木原局長が、『近い将来には重篤な労働災害をゼロに。みなさまと一緒に「まっすぐな道」を歩いて行こうと考えています。』とあいさつしました。

明治大学の向殿名誉教授が「安全の本質と世界の潮流」をテーマに特別講演を、会場参加型パネルディスカッションでは、テーマごとに参加者に〇×式のアンケートを行い、一体感のある大会となりました。

黒部労働基準部長の大会宣言では、『「絶対安全は、あり得ない。」という考え方に立脚し、危なさ」と向きあっていくことを決意する。』という趣旨に、会場から大きな拍手で賛同いただきました。

保育園児による「社長さんお願いします！」のエピローグムービーで、「まっすぐな道。」を歩いて行く決意を新たにしました。

